

実践研究会を開催!

平成29年2月18日(土)第8回目の実践研究会を行いました。今年度も、北方西小学校ひまわり教室をお借りして行いました。今回のテーマは、「**道德教育の本質を求めて!**」です。発表者は、本巣市を代表して弾正小学校・植田さゆり教諭、瑞穂市を代表して本田小学校・渡邊慎一郎教諭です。ご多用の中、実践発表者の所属長近藤聡校長先生はじめ、多くの現職の先生方など、28名の方々にご参加いただきました。

13時30分開会を待ちかねたように**國枝孝治副会長**(本田小)の司会で始まりました。参加者全員による自己紹介の前に、**森山政紀会長**の挨拶です。

「先日、新しい学習指導要領が新聞報道されました。学習内容が前倒しされ、難しくなる傾向のようです。外国語活動が3年生からに、道徳が『特別の教科』になります。今必要とされる内容が位置付けられているからとは思いますが、現場の先生方の責任がますます重くなり、そのためのご苦勞を思います。けれども、道徳教育については『仕方なくやる先生』が増えるのではなく、夢をもって子どもたちと進められるような先生を期待します。関係者のご紹介をいただいて、今回も真摯な実践をされておられるお二人の先生方をお迎えできました。その実践からお互い学ぶと共に、参会者の皆様には学校現場で道徳の本質を広める役割をお願いしたいと思います。何卒宜しくお願いします」



平成28年度 実践研究会

3つの心の教育と道徳指導

～新しい道德教育を視野に入れた道德実践～

発表者: 本巣市立弾正小学校 植田 さゆり 教諭

まず、近藤校長先生より弾正小学校における学校経営・学級経営と道徳教育の関係を



「自立・自律、協働・共生、創造・自己実現」の「3つの心の教育」として話していただきました。子どもたちの向かうべき方向を示し、価値づける集会等の具体を丁寧に説明していただきました。

続いて、植田先生の実践です。新学習指導要領の精神を踏まえて「道徳の授業改革=Let's challenge!」に取り組みられました。『ロレンゾの友だち』真の友情の実践でした。多様な考え方を知り、よりよい人間関係を築くための好資料です。

話し合い活動を活発にするため、2時間扱い、3分割の板書、ホワイトボードを使った交流に取り組みられました。その結果「だめなことはだめと言える大切さ、友だちのために真剣に考える大切さ」を捉える授業となりました。授業改善に努めたことは、最高学年の自覚をもって生き生きと活動する子どもたちの姿に繋がっていました。

植田先生は、歯切れの良い快活な方で、6年生から深く信頼されている印象をもちました。子どもたちが人生の良き先輩として尊敬できる先生に出会えることはとても幸福なことだと思いました。



共に生きる喜びをつくりだす子の育成

～人権教育の観点を明確にして、互いに認め合う態度と実践力を育てる道徳の授業づくり・日常の人間関係づくりを通して～

発表者：瑞穂市立本田小学校 渡邊 慎一郎 教諭

渡邊先生は、本田小学校が人権教育の指定を受けて、長年にわたり取り組んできた道徳教育をベースに研究を進めていることを発表されました。

「他人を思いやり、互いに助け合う子」等の「子どもの心の育ちの姿」を評価すると共に、「自分の思いを十分に表現できない姿」を自己啓発力、「自分から問題を解決しようとしないう姿」を行動力として伸ばしていこうとします。

研究内容1は、人権教育の視点を明確にした道徳の授業づくりとしてねらいの明確化と授業の在り方追究です。研究内容2は、自分の大切さと他の人の大切さを認めることができる人間関係づくりとして自己肯定感を高める日常活動と共に生きる人としての態度と実践力を高める他の教育活動追究です。

総合的に研究されているので内容を網羅することはできませんが、特筆すべきは、仲間や自分の「すてきみつけ」が授業でも他の活動でも位置付けられ全校的に行われていることです。その過程で認識力、自己啓発力、行動力を身に付けてきています。家庭・地域・学校の協力で「ボランティア・カード」も有効な取組になっているようです。

渡邊先生は、「望ましい子どもたちの姿が増えてきているが、継続的な力にするのはこれから」と謙虚に話されます。子どもたちや同僚から頼りにされる存在としてますます輝きを発することと思います。

実践している現場の先生方からは、質問や感想が出されました。大羽淳也先生（本田小）からは、活発な話し合い活動が可能であるのは



（会場風景）質の高い実践発表を熱心に聴き入る参加者の皆さん

日頃のご指導があればこそこの立場で「ワードバンク」等について質問がありました。長谷川昇児校長先生（北方西小）からは、「Let's challenge!」の授業では深まり具合を「心の見える化」としてどう捉えたのかの質問が出されました。意見交流が出来たこと、適切に関連付け・価値付けをされた司会の國枝先生にも感謝であります。

林 明夫顧問から指導助言をいただきました。

「お二人の先生方、そして学校体制で、道徳教育がよくなされているなど、改めて分かる発表でした。計画性の素晴らしさ、子ども一人ひとりへの対応、教師の明るさ・誠実さが伝わります。（略）さらに道徳教育での深い学びをするために、例えば学級指導ならば、与えられた役割が形式的にならないように『君にしかできない』『君がこうしたからできた』と個々に強く自覚させる働きかけをしていきたいものです。また、『ロレンゾの友だち』なら、友だちとしての4人の絆の強さを『友だちとして過ちをさせない』『だめなことは繰り返させない』という道徳的価値から『自己みつめ』ができるようにしたいものです」



最後に、神谷 肇副会長から結びの挨拶があり、参加のお礼と「感謝の心、思いやりの心、自立の心」を生きる糧として大切に誓いを述べられました。

これにて平成28年度の行事も無事終了しました。改めまして関係各位に深く感謝申し上げます。